

1.財務状況

【資金収支計算書】

科目	決算額
収入の部	
学生生徒等納付金収入	20,154,426
寄付金収入	159,088
補助金収入	53,364,700
資産売却収入	-
不随事業・収益事業収入	11,989,930
受取利息・配当金	28,370
雑収入	3,751,338
前受金収入	680,000
その他の収入	2,222,029
資金収入調整勘定	-4,006,555
前年度繰越支払資金	19,852,476
収入の部 合計	108,195,802
支出の部	
人件費支出	54,753,193
経費支出	27,942,706
借入金等利息支出	-
施設関係支出	-
設備関係支出	1,269,180
資産運用支出	7,299,600
その他の支出	1,803,533
予備費	-
資金支出調整勘定	-4,231,022
次年度繰越支払資金	19,358,612
支出の部 合計	108,195,802

【貸借対照表】

科目	本年度末
資産の部	
固定資産	305,466,859
流動資産	22,340,167
資産の部 合計	327,807,026
負債の部	
固定負債	406,600
流動負債	5,105,257
負債の部 合計	5,511,857
基本金の部	
第1号 基本金	359,147,402
第4号 基本金	6,000,000
基本金の部 合計	365,147,402
翌年度繰越収支差額	-42,852,233
純資産の部合計	322,295,169
負債及び純資産の部合計	327,807,026

【事業活動収支計算書】

科目	決算額		
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	20,154,426
		寄付金	159,088
		補助金	52,664,700
		不随事業	11,989,930
		雑収入	3,751,338
		人件費	54,862,793
	支出	経費	33,576,625
		徴収不能額等	-
		教育活動支出計	88,439,418
		教育活動収支差額	280,064
教育活動外収支	収入	受取利息配当金	28,370
		その他の教育活動外収入	-
	支出	借入金等利息	-
教育活動外収支差額	28,370		
経常収支差額	308,434		
特別収支	収入	資産場規約差額	-
		その他の特別収入	700,000
		特別収入計	700,000
	支出	資産処分差額	-
その他の特別支出		-	
特別支出計	700,000		
基本金組入前当年度収支差額	969,997		
基本金組入額合計	-		
当年度収支差額	969,997		
前年度繰越収支差額	-52,912,880		
基本金取崩差額	9,090,650		
翌年度繰越収支差額	-42,852,233		
事業活動収入計	89,447,852		
事業活動支出計	88,477,855		

【財産目録】

科目	金額
基本財産計	244,060,119
運用財産計	83,746,907
資産の部 合計	327,807,026
固定負債計	406,600
流動負債計	5,105,257
負債の部 合計	5,511,857
差し引き純資産	322,295,169
正味財産の部合計	327,807,026

平成29年度 自己評価及び学校関係者評価結果

平成 30年 3月12日

(学) 長橋学園 杉田幼稚園

1、幼稚園（杉田幼稚園）の教育目標

教育基本法及び学校教育法を基本として、幼稚園教育（幼児教育）を推進し、豊かな心を持つ人を育成することを目的とし、次の教育目標を定める。

教育目標：「明るく 元気に 頑張る子」

- ・物を大切にする子
- ・思いやりのある子
- ・お友だちとたくさん遊ぶ子
- ・お話をよく聞くことができる子
- ・思ったことがはっきり言える子
- ・考える力のある子

2、平成29年度の事業計画及び重点目標

事業計画～「緑いっぱい自然の中で輝く学園」として豊かな心が育つ保育の推進

- ① 「有徳の人」づくりに向け、園児一人一人を大切に、生き生きと活動できる場の設定
- ② 園児達の発達段階に応じた援助に努め、自立の基礎を培うため、自らの”モノづくり“体験の推進
- ③ 思いの伝え合いの場を大切にし、模範意識の芽生えを育む保育活動ができるよう教育課程の工夫
- ④ 小学校への接続が円滑にできるよう、保護者・地域と共感し合い、関係機関等との連携の促進

以上の事項を重点として、教育内容のさらなる向上に努める。

3、評価項目の達成及び取組状況

< A：十分達成されている B：達成されている C：取り組まれているが、成果が十分でない

D：取り組みが不十分である >

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	結果	内容・理由等	結果	内容・理由等
1、保育内容 (1) 保育の計画性	A	園の教育理念や方針に則り、園全体・各学年、各クラスの保育計画(指導～週案・日案)を立て、園児一人一人の発達段階に応じた保育に努めている。来年度の新教育幼稚園教育要領実施に向け、全教職員で改訂内容等の把握に努めた。	A	子ども達の成長に向け、杉田幼稚園の目標に沿って、教職員が保育を計画的に執行し、週案やその反省文を園長等が週の開始時に目を通し、助言等を行っている旨を、各教員の自己評価や園長の事業報告から知って、園の保育への取り組みを高く評価する。
(2) 保育のあり方・幼児への対応	B	新入園児については、入園受付の際、保護者からの的確な情報を得ており、在園児とは、生活を通じ、信頼が大事であり、声掛けやスキンシップを心掛けている。 園児達の個性がさらに伸びるよう、教職員で園児共通理解できるよう相互に情報を交換している。	A	また、最近の園児たちの中に増えている多動性行動やアレルギー疾患などを、様々な角度から検証し、保育活動の中で対応に努められているが、さらに、園児達の成長・発達に向けて、保護者や富士市、富士宮市の療育センター職員等との情報交換も引き続き実践されることを願います。

2、保育者としての資質・能力	B	<p>本園教員に若い層が多くなっており、全教員が自己の専門性を高め、保育に自信を持って取組めるよう、自己研鑽に励み、教職員間の情報交換に重点を置いている。</p> <p>保護者からの信頼がより一層得られるよう、アンテナを高くして、日々の保育活動に努めている。</p>	A	<p>教員の年齢層が若くなっているが、リーダー養成も進み、個々の教員の力量は評価できる。今後さらに、教育への理解、予測、判断力などの面での研鑽を積むとともに、新幼稚園教育要領を把握し、教育課程の充実を目指すよう研修計画を充実させ、特に、保育者の質の向上を目指して欲しい。</p>
3、保護者への対応	A	<p>P T A会則に学園行事におけるP T A活動を明確化し、園と保護者や地域との共感し合う教育活動を展開している。参観日には、園児との共同制作や保護者面談を実施し、保護者と教員の連携を深めている。</p> <p>情報交換のお便り帳では、写真や絵柄を挿入する等工夫をしている。</p> <p>また、「たまごちゃん教室」を年14回開設し、未就園児と在園児との交流も進めている。</p>	B	<p>年間を通じ、保育参観日の設定や個人面談等を適時的確に実施され、保護者からの賛辞も耳にしている。</p> <p>子育て支援（園庭開放）事業の「たまごちゃん教室」に、満3歳児組の園児達の参加もあって、異年齢児保育の効果も挙がっていると認識している。</p> <p>子育ての一環として「子育てカウンセラー」の来園や地域の子育て支援機関を保護者に啓発し、地域や保護者と一体化への体制づくりを期待する。</p>
4、地域の自然や社会とのかかわり・	B	<p>園・家庭・地域が一体となった教育を進めるため、園行事の「すぎの子フェスタ」や「運動会」に区民の参加を要請している。</p> <p>また、地域の高校生による音楽会やJ A等の指導で行う「バケツ稲の米づくり体験」や地域の茶道指導者の協力で「茶道教室」等を行うことができた。</p> <p>さらに、園舎北側の畑での馬鈴薯づくりやPTA会長の農園を利用させて頂く落花生・芋掘り等は、自然の恵みを体験する良い機会となった。</p> <p>また、防災訓練の内容も実践的なものになるよう工夫して行きたい。</p>	A	<p>学園行事への地元民の参加、年長児の鼓隊が「市消防フェスタ」への出演など、地域住民との触れ合いは、園児達の人づくり将来の社会への貴重な体験となっている。</p> <p>また、自然の恵みを知る野菜作りや芋掘り、稲作等の体験は、生きた教材を利用した学習機会として評価する。</p> <p>地域の防災意識が高まっているので、11月1日の児童引渡し訓練に併せて実施したミサイル発射警報の避難訓練は、県内でも先駆的なことで、時宜を得た活動である。今後、地域の防災訓練との協働等も検討されたい。</p>
5、研修と研究	C	<p>年間を通じ研修テーマ（要援助幼児への生活指導のあり方、教育課程への取り組み等）を立て、自己研鑽と併せ、園児の帰園後に教員間で、</p>	B	<p>教育者としての資質向上が大事であり、日常勤務の中で、研修機会を増やして行ける様に一層努力願いたい。</p> <p>小学校との幼小連携の機会を増やすと共に、自己評価に掲出されている他</p>

	意見交換を実施している。また、東海北陸教育研究大会での発表や地区の公開保育に積極的に参加している。今後、小学校との連携や、他幼稚園との相互交流研修等にも挑戦して行きたい。	の幼稚園との共同研究・研修など幼幼連携の推進は、今後、是非とも進めて頂きたい事案である。
--	---	--

4、重点目標等に対する総合的な評価結果

結果	内容・理由等
A	<p>教職員一人一人が、園長等の指導の許で、園全体の保育計画及び月間・週間指導計画の策定に参画すると共に、自己の保育活動に生かす体制づくりを進めており高く評価したい。</p> <p>学園行事における地域の方々との協働や地域の高校生との交流など、富士市と富士宮市の境に位置した当園の立地を最大限に利用した保育活動は、今後も継続されることを切望する。</p> <p>さらに、地元の農業や製紙業などの資源を活かした学習やモノづくりへの参加、さらに富士山の日・おやこんぼの日等を活用する生活体験など、園児の豊かな心を育む上でも効果があった保育活動と思う。</p> <p>今後も、園と家庭が連絡を密にし、保護者参観日の内容を工夫するなど、よりよい未来の子ども達を育てる環境づくりを期待する。なお、ホームページは、随時見直しを行い、幼稚園を多くの方に理解いただけるよう、内容も一層充実されることを望む。</p>

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
1、教育計画に基づく地域、保護者と共感し合う教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の自己評価結果を活かせるように年間計画を立て、日々の保育を常に振り返り、見つめ直しながら、新しいよりよい保育活動を進めていく。 ・杉田幼稚園から地域への情報発信を増やし、特に、学園の主要行事への地域住民の招致を回覧板やHPによって啓発し、保護者や地域等に杉田幼稚園をアピールする。
2、資質向上を目指した研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・新幼稚園教育要領等を踏まえ、要援助児への対応及び地域や保護者との共感し合える新たな課題等をテーマとした教職員の研究活動を充実するとともに、その成果を園内研修で発表するなど、研究・研修体制を強化する。 ・地域の学校や幼稚園との連携を深め教職員間の交流を行うとともに、教職員のチームワークの良さを、園活動の中で園児達に見せ、伝授していくことで、楽しい園生活を創るよう努める。
3、学園の防災・危機管理等の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・「地震等防災対策マニュアル」や「危機管理マニュアル」に沿い、家庭との連携・防災機関等との連絡体制の確立を図り、的確な避難訓練等を実施し、園内遊具の点検・改善整備も行い、防災・危機管理教育を一層充実する。

6、学校関係評価者

(参加者)

・保護者（杉田幼稚園PTA会長） ・地域住民（地区在住） ・学識経験者（地区生涯学習推進会副会長）

平成29年度 事業報告

(学)長橋学園 杉田幼稚園

1、学校法人の実績

昭和54年3月15日に設立以来、38年の歴史を踏まえ、“豊かな人間性の基礎を育み、健康で明るい素直な子どもの育成”と地域に根ざした幼児教育施設の役割を果たし、学校法人として、地域に役立つ幼稚園に向け、安定した経営を行うことができた。

2、就園児の実績

区 分	年長 (はと)	年中 (ひばり)	年少 (ひよこ)	満3歳児 (もも)	合 計
学級数	3	2	2	1	8
園児数 (人)	58 (卒園)	43	46	13	160

<平成30年3月現在>

3、研修の実績

園内研修を深める一方、県私学振興協会等の外部研修にも積極的に参加させ、職員の資質向上に勤めた。教員の園外研修への参加延べ人数は、50人を数えた。また、園長等研修会、免許更新研修及び共済事務研修等にも参加した。

4、教育活動 (行事) の状況

「明るく元気に頑張る子」を園の目標に、① 園児一人一人が、生き生きと活動できる場づくりを実施した。② 家庭、地域社会及び幼稚園が一体となり連携を深め相互に理解し、共感しあえる園づくりとしてバケツ稲作体験教室 (苗植付、稲刈、脱穀、餅つき)、東高生秋の音楽会、茶道体験教室等を行った。また、この一環として「おやこんぼ事業」(振興協会主催)を推進した。③ 自然環境を活かし、食育・生活体験学習 (カレーづくり、落花生・芋掘り)を推進した。④ 小学校への接続が円滑にできるよう、教員による幼・小交流、連携を図った。なお、25年度より地域の要望等もあり、満3歳児保育を実施している。

<主要学園行事の実績>

年 月	行 事	年 月	行 事
29.4	・入園式、始業式・内科検診、春の遠足 (日本平動物園)	29.10	・芋及び落花生掘り、稲の脱穀、秋の音楽会 (宮東生)、工場見学
// 5	・歯科検診、保育参観、バケツ稲植付、落花生と芋種まき体験	// 11	・防災訓練 (引渡し)、富士宮市消防フェスティバル鼓隊演奏
// 6	・防災訓練、子育てフェア、カレーづくり体験、土曜参観、東高校生の保育体験受入	// 12	・生活発表会、お店屋さんごっこ、餅つき体験、クリスマス会、お話し隊、終業式

11 7	・すぎの子フェスタ、こどもの国水遊び、花火教室、終業式	28. 1	・始業式、雪見遠足、まゆだまづくり(飾り)、宮バス、用品販売
11 8	・夏期保育(流しソーメン、スイカ割)、中学生職場体験受入	11 2	交通安全教室、豆まき、茶道体験教室、保育参観、縄跳び
11 9	・始業式、運動会、防災訓練、稲刈り、入園受付	11 3	・お別れ遠足、お別れ会、卒園式、終業式

5、施設・設備整備の状況

- ・園児の安心、安全確保のため、設備（生活水、浄化槽、ガス機器、報知機）の点検を実施するとともに、遊具等点検（年9回：園内、1回：外部）を行い、改善整備を図った。
- ・施設設備に関しては、富士宮市の補助金を活用して、「放送設備」、「運動用具」、「履物入れ」等の整備を行い、「庭木」の剪定、浄化槽修理、駐車場改修（砂利敷）を実施した。

6、管理・運営関係の実績

- (1) 預かり保育～2時間 (2) 通園バスの運行 (3) 園庭開放事業（子育て支援「たまごちゃん教室」事業）(4) エコ教育の推進と古紙回収 (5) 教育実習の受け入れ(6) PTA活動の充実 (7) 防災訓練の実施及び「危機管理マニュアル」の改訂（ヒアリ、小動物被害、ミサイル発射警報への対応等）(8) 教育課程の充実 (9) 「杉田幼稚園ホームページ」の更新 (10) 私立幼稚園教育研究東海北陸大会発表（福井市：話題提供～7月）テーマ：「保護者・地域と共感し合う教育活動」(11) 学校評価の徹底を行った。